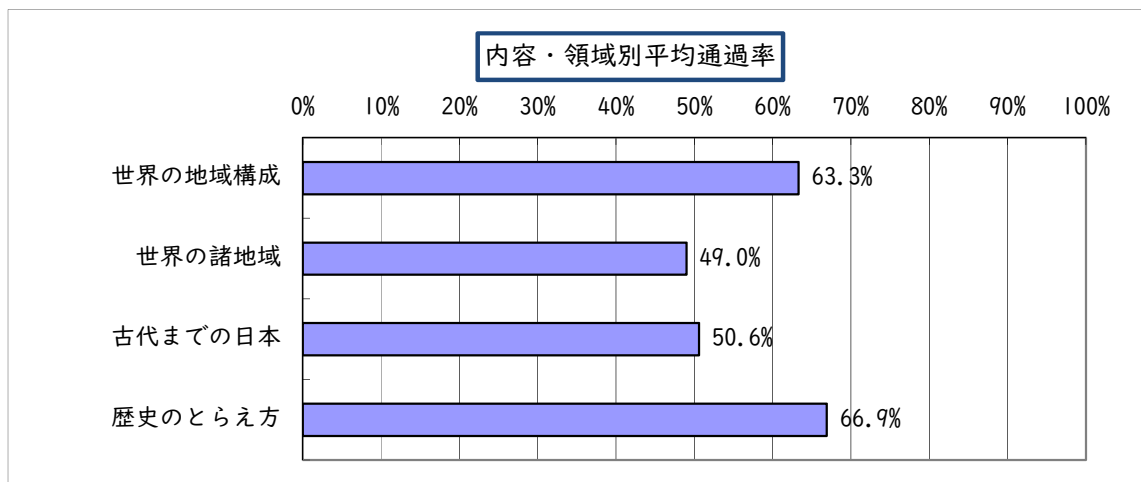
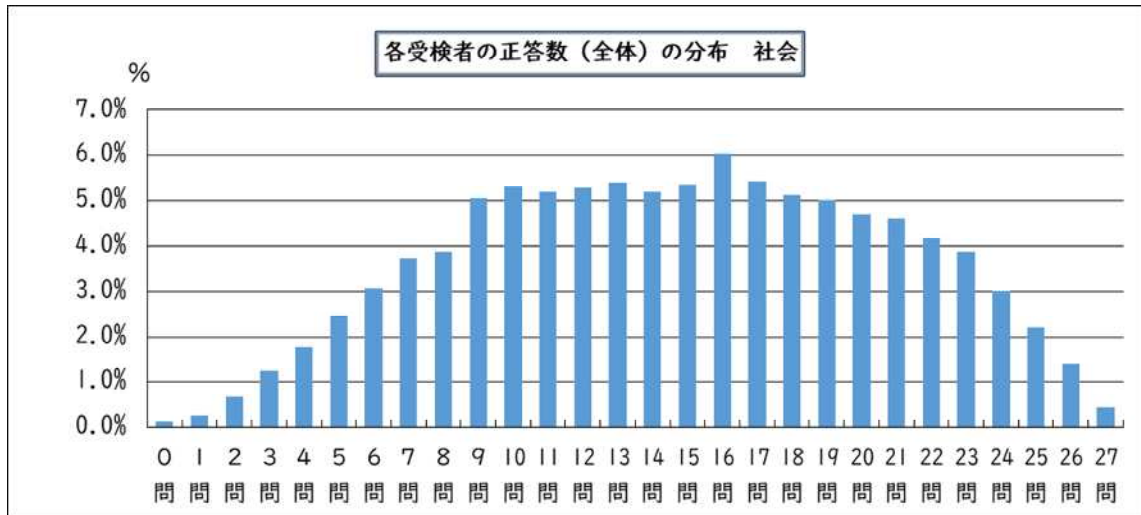


(1) 中1平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率		小5	中1	中2
	知識・技能	64.6%	52.9%	60.6%
	思考・判断・表現	66.6%	57.3%	65.5%
	全体	65.3%	54.4%	62.3%



- 「知識・技能」に関する問題の平均通過率は 52.9%と低い状況です。特に、インドで多く信仰されているヒンドゥー教を問う問題 (44.7%)、写真と説明から「フィヨルド」を問う問題 (40.6%)、中国の王朝名「漢」(55.2%)を問う問題の通過率が低くなっています。基本的な用語、地名等については、十分な理解を図る必要があります。社会科は教科の特性上、用語の理解等が多いことから、日常の授業の中で、折に触れて、定期的に復習を行う機会を設けたりして、確実な定着を図る工夫も必要です。
- 「思考・判断・表現」に関する問題の平均通過率は 57.3%であり、アフリカの多くの国が抱える経済問題を説明する問題 (48.9%) や荘園の成り立ちの流れを説明する問題 (26.9%) の通過率が低くなっています。例えば、歴史においては、歴史的事象の背景や原因等を考える授業を行うとともに、意図的に資料の読み取りや比較などを取り入れる必要があります。
- 内容・領域別で平均通過率が低かったのは「世界の諸地域」で、ヨーロッパの農業の特色を問う問題は 35.8%と定着が図られていませんでした。また、岩倉使節団に随行した大久保利通の写真を選択する問題 (69.1%) など、郷土 (鹿児島県) に関する問題は、知識として身に付けてほしいです。

(2) 各設問の分類と平均通過率

社会(中学校第1学年)

	設問			出題学年	内容領域別					評価の観点		県平均		校内平均		出題の意図
	大問	中間	小問		世界と日本の地域構成	世界各地の人の生活と環境	世界の諸地域	古代までの日本	歴史のとらえ	知識・技能	思考・判断・表現	通過率	無解答率	通過率	無解答率	
1	1	(1)	小5中1	○					○		63.0%	0.3%			緯度や経度を使って、世界の都市の位置を理解しているか。	
2		(2)	中1	○					○		46.0%	0.1%			正距方位図法の特徴を理解し、資料から判断することができるか。	
3		(3)	中1	○					○		65.8%	0.4%			時差の求め方を理解しているか。	
4		(4)	小5中1	○					○		78.6%	4.8%			日本が沖ノ鳥島の護岸工事を行っている理由について説明することができるか。	
5	2	(1)	中1			○			○		44.7%	0.6%			世界の宗教の広がりを理解しているか。	
6		(2)	中1			○			○		68.4%	0.2%			東南アジアの地域協力組織(東南アジア諸国連合)について理解しているか。	
7		(3)	中1			○			○		80.0%	0.3%			中国の経済発展や工業について、資料を基に判断することができるか。	
8		(4)	中1			○			○		36.6%	10.5%			アフリカ州の自然について理解しているか。	
9		(5)	中1			○			○		48.9%	9.9%			アフリカの多くの国が抱えている経済問題を説明することができるか。	
10	3	(1)	中1			○			○		40.6%	19.3%			ヨーロッパの地形について理解しているか。	
11		(2)	中1			○			○		59.1%	3.0%			ヨーロッパの気候に影響を与えている風を理解しているか。	
12		(3)	中1			○			○		35.8%	0.5%			ヨーロッパの農業について理解しているか。	
13		(4)	中1			○			○		24.7%	0.6%			EUの特色について理解しているか。	
14		(5)	中1			○			○		51.7%	12.3%			EU拡大による域内の課題について資料を読み取り、説明することができるか。	
15	4	(1)	中1				○		○		47.1%	0.6%			古代文明の特徴を理解しているか。	
16		(2)	中1				○		○		52.0%	0.3%			資料を読み取り、縄文人の生活の様子を理解しているか。	
17		(3)	中1				○		○		55.2%	5.5%			2世紀ごろの日本や世界の様子を理解しているか。	
18		(4)	中1				○		○		57.6%	12.6%			大和政権の影響が及ぼす範囲を説明することができるか。	
19	5	(1)	中1				○		○		86.4%	2.5%			聖徳太子が目指した国づくりについて、2つの資料から正しく読み取ることができるか。	
20		(2)	中1				○		○		43.7%	1.0%			7世紀ごろの東アジアと日本の様子について理解しているか。	
21		(3)	中1				○		○		26.9%	23.2%			墾田永年私財法が制定された背景や結果を説明することができるか。	
22		(4)	中1				○		○		47.1%	13.2%			奈良時代の文化を理解しているか。	
23		(5)	中1				○		○		39.7%	18.8%			摂関政治の特徴について説明することができるか。	
24	6	(1)	中1				○	○			78.0%	2.3%			世紀の表し方を理解しているか。	
25		(2)	A	中1				○	○		54.9%	10.3%			時代を区分する時代名の表し方を理解しているか。	
26			B	中1					○	○		65.8%	8.7%			時代を区分する時代名の表し方を理解しているか。
27	(3)	小6					○	○			69.1%	0.9%			鹿児島出身の人物が行ったことについて理解しているか。	
計				問題数	4	0	10	9	4	18	9					
				出題割合	14.8%	0.0%	37.0%	33.3%	14.8%	66.7%	33.3%					
												54.4%	6.0%			

(3) 社会<中学校第1学年>

ア 特徴ある問題から 大問3 (2), (3)

(中学校学習指導要領解説 社会編 B(2)世界の諸地域 P47,48)

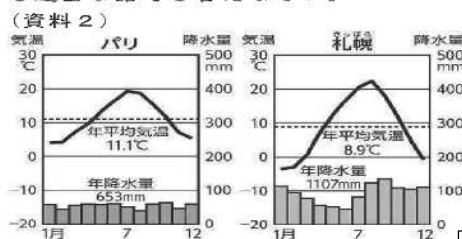
学習指導要領解説には、「① アジア」, 「② ヨーロッパ」, 「③ アフリカ」, 「④ 北アメリカ」, 「⑤ 南アメリカ」, 「⑥ オセアニア」の六つの州からなる小項目で構成している。(中略)各州の自然, 産業, 生活・文化, 歴史的背景などについて概観し, その結果として基礎的・基本的な知識を身に付けることを意味している。」とあります。

そこで本問題では, 「② ヨーロッパ」の自然, 産業について, 雨温図からその特徴を読み取り, そこで行われている農業の特色を説明する問題を出题しています。

本問題における通過率は35.8%となっています。原因として, 気候などの地理的な条件が農業の特色に影響を与えていることについて, 理解が不足していると考えられます。そこで, 次のような視点での授業改善が考えられます。

(2) 資料2は, 地図中のパリと日本の札幌の雨温図である。ヨーロッパ州の気候の特色について述べた次の会話文の()に当てはまる適当な語句を答えなさい。

(生徒) 地図帳を見ると, 札幌よりもパリのほうが高緯度に位置しています。
 (先生) 札幌よりも高緯度に位置しているパリのほうが冬の気温が高いのはなぜでしょうか。海流や風に着目して考えてみましょう。
 (生徒) 札幌は, 寒流のリマン海流と季節風の影響を受け, 冬の気温が低くなっています。一方, パリは, 暖流である北大西洋海流と()風によって, あたかい空気が運ばれ, 冬が比較的温かくなっていると考えられます。



通過率
59.1%

(3) 地図中の⑥の地域の農業の特色について述べた文として最も適当なものを次のア～エから一つ選び, 記号で答えなさい。

- ア やぎや羊などを飼育する遊牧が行われている。
- イ 小麦やライ麦などの穀物を主に生産している。
- ウ 切り払った樹木を燃やした灰を肥料として利用する焼畑農業が行われている。
- エ 乾燥に強いオリーブやぶどう, オレンジなどの果実を栽培している。

通過率
35.8%

イ 授業改善のポイント

雨温図の読み取り方		
キーワード	折れ線グラフ	棒グラフ
1 平均	・平均気温は何度?	・平均降水量は何mm?
2 高い(多い)	・最も気温が高いのは何月?	・最も降水量が多い月は何月?
3 低い(少ない)	・最も気温が低いのは何月?	・最も降水量が少ない月は何月?
4 差	・最も気温が高い月と低い月との差は何度くらい?	・最も降水量が多い月と少ない月との差は何mmくらい?
5 特徴	・気温の変化にはどんな特徴があるか?	・降水量にはどんな特徴があるか?

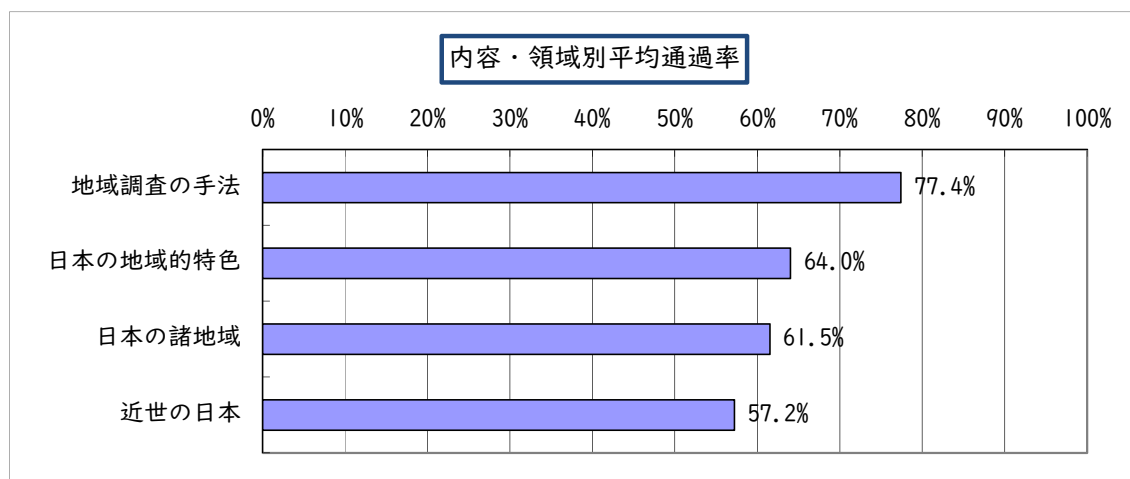
授業では, 雨温図から分かる1年間の気温差, 降水量の多い(少ない)月などの気候的な特徴と該当都市の緯度や地形などの地理的な条件に着目させ, 気候を決定する要素は何かを考えさせることが大事です。例えば, ①まず, 雨温図の読み取り方を学習する時間を設定する。②次に, いくつかの都市を指定して, 適切な課題を設けて行う学習に取り組みませる。③そして, 既習学習を生かしてその他の雨温図の学習を行うなどの授業が考えられます。

※ 農業の特色

- ① 気候的な特徴(雨温図からの読み取り)
- ② 該当都市の緯度や地形などの地理的な条件

(1) 中2平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率				
		小5	中1	中2
	知識・技能	64.6%	52.9%	60.6%
	思考・判断・表現	66.6%	57.3%	65.5%
全体	65.3%	54.4%	62.3%	



- 「知識・技能」に関する問題の平均通過率は 60.6%と低い状況です。特に、写真と説明から「三角州」を問う問題 (50.7%)、国内生産と海外生産のグラフから産業の空洞化を問う問題 (44.3%)、江戸時代の特産物の分布地図から商品作物を問う問題 (46.6%) の通過率が低くなっています。基本的な用語、地名等については、十分な理解を図る必要があります。社会科は教科の特性上、用語の理解等が多いことから、日常の授業の中で、折に触れて、定期的に復習を行う機会を設け、確実な定着を図る工夫も必要です。
- 「思考・判断・表現」に関する問題の平均通過率は 65.5%であり、水力発電の立地条件を説明する問題 (50.7%) やイエズス会のアジア進出の流れを説明する問題 (43.6%) の通過率が低くなっています。これらの問題は、設問そのものを学習課題として設定して、1 単位時間の授業の中で取り扱うなど工夫を行い、思考力・判断力・表現力を図ることが大切です。
- 内容・領域別で平均通過率が低かったのは「近世の日本」で、江戸時代の政治を問う問題は 36.2%と定着が図られていませんでした。また、シラスの特徴を説明する問題 (45.6%)、薩摩焼の歴史を問う問題 (39.9%) など、郷土 (鹿児島県) に関する問題は、知識として身に付けてほしいです。

(2) 各設問の分類と平均通過率

社会(中学校第2学年)

設問	設問			出題学年	内容領域別				評価の観点		県平均		校内平均		出題の意図
	大問	中間	小問		地域調査の手法	日本の地域的特色	日本の諸地域	近世の日本	知識・技能	思考・判断・表現	通過率	無解答率	通過率	無解答率	
1	1	(1)	小4中2	○				○		78.7%	0.1%			縮尺について理解しているか。	
2		(2)	小4中2	○				○		63.8%	0.1%			地図の記号等を基に、地形図を読み取ることができるか。	
3		(3)	小4中2	○					○	73.0%	1.0%			等高線を読み取り、ルートを判断した理由を説明することができるか。	
4		(4)	小4中2	○					○	94.0%	0.1%			ハザードマップの意義や自然災害の種類、防災について理解しているか。	
5	2	(1)	中2		○				○	50.7%	5.7%			地形の特色の一つである三角州について理解しているか。	
6		(2)	中2		○				○	68.3%	3.2%			瀬戸内の気候について、雨温図や模式図を用い、季節風との関係から説明することができるか。	
7		(3)	中2		○				○	50.7%	3.6%			日本の発電所の分布について、資料と関連付け、立地条件を説明することができるか。	
8		(4)	中2		○				○	65.0%	0.4%			産業の分類について理解しているか。	
9		(5)	中2		○				○	85.2%	0.3%			滋賀県の位置を理解しているか。	
10	3	(1)	中2			○			○	45.6%	0.5%			九州地方の自然環境について理解しているか。	
11		(2)	中2			○			○	64.3%	4.8%			資料から、所要時間とみよがの取扱量の変化を関連付けて説明することができるか。	
12		(3)	中2			○			○	82.9%	0.4%			日本の工業や人口の特色について、理解しているか。	
13		(4)	中2			○			○	70.6%	6.9%			資料から、静岡県・長野県の気候を比較し、レタスの取扱量と関連して説明することができるか。	
14		(5)	中2			○			○	44.3%	11.5%			国内の産業の動向を理解しているか。	
15	4	(1)	中2				○	○		61.2%	0.4%			新航路の開拓について理解しているか。	
16		(2)	中2				○	○		43.6%	12.0%			宗教改革とその後のヨーロッパの海外進出を結び付けて説明することができるか。	
17		(3)	中2				○		○	89.4%	1.7%			織田信長の戦い方について理解し、説明することができるか。	
18		(4)	中2				○	○		91.5%	0.6%			豊臣秀吉の統一事業について理解しているか。	
19		(5)	中2				○	○		39.9%	0.5%			文禄・慶長の役がもたらした陶磁器文化を理解しているか。	
20	5	(1)	中1				○	○		65.7%	2.3%			世紀と西暦の関係を理解しているか。	
21		(2)	中2				○	○		72.0%	7.1%			参勤交代における大名の負担を、資料から読み取ることができるか。	
22		(3)	中2				○	○		40.3%	1.0%			鎖国体制に至るまでの対策や出来事を理解しているか。	
23		(4)	中2				○	○		77.9%	5.7%			琉球王国と薩摩藩の関係を理解しているか。	
24	6	(1)	中2				○	○		46.6%	16.5%			江戸時代の産業の発達について理解しているか。	
25		(2)	中2				○	○		57.3%	10.1%			江戸幕府による産業と交通について、資料を基に説明することができるか。	
26		(3)	中2				○	○		36.2%	1.3%			江戸時代の政治について理解しているか。	
27		(4)	中2				○	○		21.7%	1.4%			江戸時代の文化の特色について理解しているか。	
計				問題数	4	5	5	13	18	9					
				出題割合	14.8%	18.5%	18.5%	48.1%	66.7%	33.3%					
											62.3%	3.7%			

(3) 社会<中学校第2学年>

ア 特徴ある問題から 大問6 (3)

(中学校学習指導要領解説 社会編 B 近世までの日本とアジア(3)近世の日本 P109)

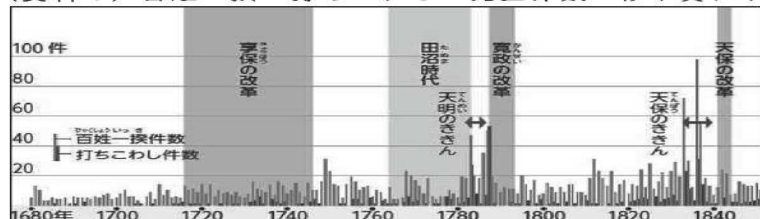
学習指導要領解説には、「幕府の政治改革については、「百姓一揆などに結び付く農村の変化や商業の発達などへの対応という観点から、代表的な事例を取り上げる（内容の取扱い）ようにする。その際、財政の悪化などの背景や、改革の結果などに触れる。」とあります。

そこで本問題では、江戸時代の改革が行われた歴史的背景を捉え、松平定信が寛政の改革を行った中心人物であることを理解し、具体的にどのような内容であったかを説明する（選択する）問題を出題しています。

本問題における通過率は36.2%となっています。原因として、江戸時代の改革について原因・理由・背景等の流れを十分に理解していないことが考えられます。そこで、次のような視点での授業改善が考えられます。

(3) 資料4は、百姓一揆・打ちこわしの発生件数の移り変わりを表している。資料5の松平定信が、政治と経済を立て直すために行った改革の内容について説明している文として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

(資料4) 百姓一揆・打ちこわしの発生件数の移り変わり (資料5)



- ア 凶作やききんにそなえて、米をたくわえさせた。
- イ 商人に株仲間を作ることをすすめ、特権をあたえるかわりに営業税を納めさせた。
- ウ 江戸や大阪周辺の土地を、幕府の直接の支配地にしようとした。
- エ 上げ米の制を定め、新田開発を進めるなど年貢を増やす政策を行った。

通過率
36.2%

イ 授業改善のポイント

江戸時代の改革については、すべてを学習した後に、「あなたならどの改革を支持するか」などのテーマで時間を設定する授業を提案します。①人物を選ぶ。②その理由をまとめる。③それぞれの改革を確認する際、比較しながらまとめる。社会科は教科の特性上、用語の理解等が多いことから、まとめる等の時間を設定することで定着も図られ、有効であると考えます。しかしながら、時間を生み出すためには、授業の計画段階で、学校や生徒の実態に応じてカリキュラムマネジメントを行ったりするなど、工夫する必要があります。

これからの授業のありかた 教師の観の変換が鍵だと考えます。

1 授業改善のかべ＝「入試」からの脱却

中学校では「入試のために」という理由で、知識注入を中心とした授業が行われているのが現状です。それでは、入試が変われば（なくなれば）、知識注入を中心とした授業は変わるのでしょうか。社会科の授業は、「教師が知識を与え、生徒はそれを受け取って覚えるものだ」という授業観が根深くあり、これまでの授業のありかたを見直す必要があります。

2 生徒が充足感・成就感をもてる授業の実現

学ぶことが楽しいという経験を中学校の社会科（特に歴史）でも体験させる必要があるのではないのでしょうか。そのためには、小学校で行われている「参加型の授業」を積極的に導入する必要があります。小学校では、中学校以上に子供の活動を重視した授業が実践されています。

【参考】

「小中社会科の授業づくり～社会科教師はどう学ぶか～」
浅井陽介・唐木清志（東洋館出版社 2021年）を基に作成